

10204染色整理業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	9 ～ 10	工場作業場で、乾燥釜に糸を入れるためホイストを操作していた際、床板が外されていたため1m下の鉄パイプ上に落下し、右腕を打って骨折した。	41	1	416	30 ～ 49
2	2020	2	15 ～ 16	捺染めの糊場で、床面の鉄板が濡れていたため掃除をしていたとき、滑って転倒し、右手を床について手首を骨折した。	46	2	416	100 ～ 299
3	2020	4	16 ～ 17	ホームでトラックの荷台に台車を搬入するため、テーブルリフトに載せようとした。その際、台車が重かったため足を踏ん張ったところ、左脹脛に肉離れを起こした。	64	19	362	10 ～ 29
4	2020	5	18 ～ 19	リフトへ戻る際、機械下の配管を固定したアングルに頭を打ち、頭部の外傷を負った。	59	3	418	100 ～ 299
5	2020	6	14 ～ 15	倉庫外に立て掛けて保管してある複数の空台車(90インチ)のうち、1台を使用するため、2人で1台を横にしようとした。その際、台車と台車が引っ掛かったため外そうとしたとき、その1台が倒れてきた。慌てて支えようとしたところ、台車裏側に付いているL字鋼の角に右手をぶつけ、第4中手骨を折った。	40	5	362	50 ～ 99
6	2020	6	9 ～ 10	工場敷地内で、印刷用の版を洗浄中、版が洗浄機のモーター部分に引っ掛かり、本体の右半分が浮き上がった。緊急停止ボタンが押せず、洗浄機を稼働したまま版を取り除いたところ、動き出した歯車	62	8	169	30 ～ 49

				に左手が巻き込まれて、左中緩小指基節骨粉碎骨折を負った。				
7	2020	7	10 ～ 11	施設作業場で、旋盤で研磨作業中、右手が機械に巻き込まれ、右手首の靭帯を損傷した。	63	7	151	100 ～ 299
8	2020	7	16 ～ 17	工場で、染色前布地準備中、作業台（10cm）から完成品を両手で持ち立ち上がり移動した際、バランスを崩し、ひねり転倒した。このとき、左足関節を外果骨折した。	51	2	417	10 ～ 29
9	2020	9	12 ～ 13	工場で、検色前の洗浄中、通常シリンダーでお湯をすくい、シリンダー内で洗浄するが、攪拌機のお湯で直接洗った際、手が回転軸に絡まり、手と指が挟まれ、右手中指を切断した。	58	7	169	30 ～ 49
10	2020	11	13 ～ 14	倉庫内で、棚の上段にある型枠を取ろうと1人で足場に上がったとき、バランスを崩して転落した。その際、仰向けに倒れ、腰椎横突起を折り、外傷性硬膜下水腫が生じた。	71	1	411	100 ～ 299
11	2020	11	10 ～ 11	反物を運搬中、機械に足が引っ掛かり転倒した。その際、左大腿骨を折った。	57	2	391	1～ 9
12	2020	12	13 ～ 14	木の伐採作業中、地上約3mの太い枝にまたがって、チェーンソーで切り落とそうとした際、切断されかかった枝が被災者の左足側に倒れ、幹と枝に挟まれて足首をひねり踝部を骨折した。	61	6	712	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。